

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【公開番号】特開2006-87562(P2006-87562A)

【公開日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-014

【出願番号】特願2004-274996(P2004-274996)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機本体の後側に球払出装置が設けられ、同遊技機本体の前側に球受皿を有する開閉体がヒンジ機構によって開閉可能に設けられ、前記遊技機本体と前記開閉体の相互には、前記球払出装置から払い出された球を前記球受皿に誘導する連絡路が、本体側通路と開閉体側通路によって分離可能に形成された遊技機であって、

前記開閉体の後側には、前記開閉体側通路を構成する通路筒が、前記本体側通路の出口に連通可能に突設される一方、

前記遊技機本体の前側には、前記開閉体がヒンジ機構によって開放されたときに、前記本体側通路の出口から放出される球を受ける球受部が形成され、

前記球受部の前壁は、前記開閉体の通路筒の下側に接近する高さに設定され、

前記球受部の前壁には、弾性を有する球こぼれ防止シートが装着され、

前記球こぼれ防止シートは、前記開閉体が閉じられたときには、同開閉体の通路筒の下側に押圧されて弾性的に撓む一方、前記開閉体が開かれたときには、自身の弾性力によつて前記前壁から所定高さまで延びる球こぼれ防止姿勢に起立される構成にしてあることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機であって、

球こぼれ防止シートは、球受部の前壁の後面に装着されていることを特徴とする遊技機。

。

【請求項3】

請求項2に記載の遊技機であって、

球こぼれ防止シートは、球受部の前壁の後面に略下半部が接した状態でかつその下部が固定手段によって固定されていることを特徴とする遊技機。